

総合的な学習の時間 「福祉体験（手話体験）」

横須賀市立久里浜中学校



単元（題材）目標

- 地域における福祉の在り方を学び、福祉と自分のつながりを考え、まとめの活動を通して自分の考えを整理し、それを他者へ伝える力を養う。

（１）実施時期

平成30年11月9日（金）



（２）対象（学年等・人数）

第1学年 76名、 中学校教員 1名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第1学年担当1名

外部講師：耳が聞こえない方1名、健聴者1名



（４）実施内容

- 全く周りの音が聞こえないことで困ること、便利なもの
- 社会で共生するために…手話や筆談などコミュニケーションでの手立て
- 手話に挑戦

（５）成果

- 「目の前にいる人が、耳が聞こえないかどうかは、見た目だけでは判断できない。」講義の最初にその点に気づかされた。コミュニケーションの方法や手話の体験など、とても勉強になった。今後、耳が聞こえない人と出会ったときに、この学びをいかしていきたいとの感想も出た。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- ・耳が聞こえない人が話す手段は手話だけだと思っていましたが、他にも口話や筆談などの手段があることを知ることが出来ました。
- ・自分が口話で「スキー」といったはずが「すし」「くし」などの答えが返ってきて、自分が思っている以上に聞こえづらいことなんだと感じました。

（６）その他

- 外部講師の方々に、わかりやすく楽しい講義をしていただいた。また、便利なものなどの実物を見せていただき、生徒は親近感を持って学ぶことができた。
- 資料も、日常使える手話など興味の手話の内容を用意していただいた。